



## 平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月14日

上場取引所 東

上場会社名 サンコール株式会社

コード番号 5985 URL <http://www.suncall.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山主 千尋

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 業務・管理部門長

(氏名) 杉村 和俊

TEL 075-881-5280

四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	28,059	1.7	1,646	△5.2	1,187	△15.0	692	△29.3
28年3月期第3四半期	27,594	4.5	1,736	△6.6	1,397	△46.7	980	△45.1

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 △887百万円 (△345.5%) 28年3月期第3四半期 361百万円 (△83.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	21.81	21.58
28年3月期第3四半期	30.90	30.54

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	42,717	31,613	73.7	991.03
28年3月期	43,048	33,073	76.5	1,037.59

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 31,475百万円 28年3月期 32,927百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	8.00	—	10.00	18.00
29年3月期	—	8.00	—		
29年3月期(予想)				10.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,000	6.2	2,000	△5.4	1,700	11.6	1,100	5.5	34.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	34,057,923 株	28年3月期	34,057,923 株
29年3月期3Q	2,297,521 株	28年3月期	2,323,396 株
29年3月期3Q	31,746,486 株	28年3月期3Q	31,718,602 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、様々な要因により上記予想数値と異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
(4) 追加情報 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
4. 海外売上高 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## 《全般的概要》

## [経営成績及び事業環境]

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境が改善し個人消費も回復の兆しが見られました。世界経済は中国では政策効果等により底堅く推移し、欧米では個人消費が経済を牽引し景況感は緩やかに改善しました。

当社グループの主な事業領域である自動車業界は、日本では軽自動車販売は不振でしたが、新車効果等もあり販売台数全体としては前年並みとなりました。米国では原油安等を背景に中大型車などの販売が伸び、中国では小型車減税政策等により前年を上回りました。

## [連結業績]

このような環境の下、当社グループの売上高は自動車関連部品が国内外の拠点で増加し、電子情報通信関連ではプリンター市場の低迷の影響を受けましたが、HDD用サスペンションの既存製品の需要回復と新モデルの伸長により、前年同水準の280億59百万円となりました。利益面では、前年に比べ円高で推移したことやメキシコ会社での量産準備費用の増加等により営業利益は16億46百万円（前年同期比5.2%減）となりました。また経常利益は円高環境や海外子会社の自国通貨安による為替差損等の影響により11億87百万円（同15.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億92百万円（同29.3%減）となりました。

## 《セグメントの業績》

## [日本]

日本セグメントにおいては、弁ばね用材料はグローバル供給体制の整備による海外拠点移管等があり日本の輸出販売は影響を受けましたが、自動車のミッション用ばね製品は好調に推移しました。また電子情報通信関連ではHDD用のサスペンションの需要回復や新モデルの伸長により前年を上回りました。

結果として、日本セグメントの売上高は201億11百万円（前年同期比3.4%増）となりましたが、セグメント利益は精密機能材料の販売減少や円高環境下における収益性の低下等により14億78百万円（同7.7%減）となりました。

## [北米]

北米セグメントにおいては、米国子会社の光通信部品の受注が回復し、自動車用エンジン部品も伸長したほか、メキシコ子会社の弁ばね用材料も生産販売を開始しました。利益面では、メキシコ子会社の量産準備費用、米国子会社での増産や納期対応費用等が膨らみ減益となりました。

結果として、北米セグメントの売上高は38億10百万円（前年同期比4.9%増）、セグメント損失は2億41百万円（前年同期は1億3百万円のセグメント損失）となりました。

## [アジア]

アジアセグメントにおいては、中国・タイ子会社の自動車用エンジン部品が好調に推移し、香港子会社では光通信部品の受注が持ち直した一方、プリンター関連販売が新興国市場の低迷で減少しました。利益面では、主に自動車関連販売の増収と原価改善効果により増益となりました。

結果として、アジアセグメントの売上高は67億円（前年同期比5.7%減）、セグメント利益は9億11百万円（同15.5%増）となりました。

## 《製品区分別の売上業績》

製品区分の名称	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減	
	自平成27年4月1日 至平成27年12月31日		自平成28年4月1日 至平成28年12月31日			
	金額	構成比	金額	構成比	金額	前期比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
精密機能材料	3,221	11.7	3,315	11.8	93	2.9
精密機能部品	16,685	60.5	17,243	61.5	557	3.3
自動車関連部品	19,907	72.2	20,558	73.3	650	3.3
サスペンション	2,867	10.4	3,515	12.5	647	22.6
プリンター関連	3,349	12.1	2,473	8.8	△876	△26.2
デジトロ精密部品	1,373	5.0	1,421	5.1	48	3.5
電子情報通信関連部品	7,590	27.5	7,410	26.4	△180	△2.4
その他製品	97	0.3	90	0.3	△6	△6.3
合計	27,594	100.0	28,059	100.0	464	1.7

(自動車関連部品)

## [精密機能材料]

精密機能材料では、主として中国顧客向けの弁ばね用材料が増加し、日本国内の異形材需要も堅調に推移したため、売上高は33億15百万円（前年同期比2.9%増）となりました。

## [精密機能部品]

精密機能部品では、安全装置用部品の需要が低水準となったものの国内外でミッション・エンジン用部品が好調だったため、売上高は17億243百万円（前年同期比3.3%増）となりました。

(電子情報通信関連部品)

## [サスペンション]

HDD用サスペンションは、既存製品の需要回復や第3四半期における新モデルの伸長によって、売上高は35億15百万円（前年同期比22.6%増）となりました。

## [プリンター関連]

プリンター関連は、プリンター市場の低迷による主要顧客の生産調整の影響等により売上高は24億73百万円（前年同期比26.2%減）となりました。

## [デジトロ精密部品]

デジトロ精密部品は、電気検査用のプローブピンの増加や北米子会社での光通信部品の受注回復によって、売上高は14億21百万円（前年同期比3.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債・純資産の状況

[資産]

総資産は427億17百万円（前連結会計年度末比3億30百万円減）となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が3億31百万円、株価上昇により投資有価証券が4億11百万円増加したことに対し、減価償却等により有形固定資産が4億38百万円、配当支払や設備投資等により現金及び預金が6億9百万円減少したこと等によります。

[負債]

負債は111億3百万円（前連結会計年度末比11億28百万円増）となりました。これは主にメキシコ子会社の借入金が増加したこと等によります。

[純資産]

純資産は316億13百万円（前連結会計年度末比14億59百万円減）となりました。これは主に、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益により6億92百万円増加し、配当支払により5億71百万円減少したほか、株価上昇によりその他有価証券評価差額金が3億45百万円増加した一方、円高環境下であったことから為替換算調整勘定が19億4百万円減少したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想につきましては平成28年5月13日に公表いたしました業績予想から修正しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更による、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,616	7,006
受取手形及び売掛金	7,492	7,823
商品及び製品	1,639	1,417
仕掛品	1,694	1,610
原材料及び貯蔵品	1,602	1,710
その他	901	1,016
流動資産合計	20,947	20,585
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,165	4,874
機械装置及び運搬具(純額)	6,431	7,198
その他(純額)	4,495	3,580
有形固定資産合計	16,092	15,653
無形固定資産	332	337
投資その他の資産		
投資有価証券	4,818	5,229
その他	858	912
投資その他の資産合計	5,676	6,141
固定資産合計	22,101	22,132
資産合計	43,048	42,717
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,052	4,080
短期借入金	141	82
1年内返済予定の長期借入金	102	85
未払法人税等	103	105
役員賞与引当金	—	17
賞与引当金	394	259
その他	2,955	3,274
流動負債合計	7,749	7,905
固定負債		
長期借入金	307	1,278
退職給付に係る負債	766	789
その他	1,151	1,130
固定負債合計	2,225	3,198
負債合計	9,975	11,103

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,808	4,808
資本剰余金	2,743	2,741
利益剰余金	23,341	23,462
自己株式	△891	△881
株主資本合計	30,002	30,130
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,069	2,415
繰延ヘッジ損益	△0	△34
為替換算調整勘定	729	△1,174
退職給付に係る調整累計額	126	138
その他の包括利益累計額合計	2,925	1,344
新株予約権	145	138
純資産合計	33,073	31,613
負債純資産合計	43,048	42,717

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	27,594	28,059
売上原価	22,238	22,932
売上総利益	5,356	5,127
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	619	651
報酬及び給料手当	974	903
役員賞与引当金繰入額	16	17
賞与引当金繰入額	57	77
退職給付費用	62	63
その他	1,889	1,766
販売費及び一般管理費合計	3,619	3,480
営業利益	1,736	1,646
営業外収益		
受取配当金	126	117
物品売却益	59	46
その他	80	76
営業外収益合計	265	240
営業外費用		
支払利息	20	37
持分法による投資損失	430	54
為替差損	146	595
その他	9	12
営業外費用合計	605	699
経常利益	1,397	1,187
特別利益		
投資有価証券売却益	244	0
その他	1	0
特別利益合計	246	0
特別損失		
固定資産廃棄損	14	15
その他	3	1
特別損失合計	17	16
税金等調整前四半期純利益	1,625	1,171
法人税、住民税及び事業税	524	392
法人税等調整額	120	86
法人税等合計	645	479
四半期純利益	980	692
親会社株主に帰属する四半期純利益	980	692

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	980	692
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△326	345
繰延ヘッジ損益	—	△33
為替換算調整勘定	△426	△1,874
退職給付に係る調整額	△1	12
持分法適用会社に対する持分相当額	136	△29
その他の包括利益合計	△618	△1,580
四半期包括利益	361	△887
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	361	△887
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米	アジア	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	17,278	3,624	6,692	27,594	—	27,594
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,173	7	410	2,591	△2,591	—
計	19,451	3,631	7,103	30,186	△2,591	27,594
セグメント利益又は損失(△)	1,602	△103	789	2,288	△551	1,736

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△551百万円には、セグメント間取引消去△52百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△499百万円が含まれております。全社費用の主なものは、当社の業務管理部門等にかかる費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米	アジア	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	17,995	3,809	6,254	28,059	—	28,059
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,115	0	445	2,562	△2,562	—
計	20,111	3,810	6,700	30,621	△2,562	28,059
セグメント利益又は損失(△)	1,478	△241	911	2,148	△501	1,646

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△501百万円には、セグメント間取引消去△23百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△478百万円が含まれております。全社費用の主なものは、当社の業務管理部門等にかかる費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 4. 海外売上高

前第3四半期末連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

	米国	中国	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	3,591	3,661	8,122	15,375
II 連結売上高(百万円)				27,594
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	13.0	13.3	29.4	55.7

当第3四半期末連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

	米国	中国	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	3,496	3,881	7,962	15,341
II 連結売上高(百万円)				28,059
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	12.5	13.8	28.4	54.7

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 米国……………米国

(2) 中国……………中国

(3) その他の地域……韓国、タイ、ベトナム、インドネシア、マレーシア、インド、  
シンガポール、フィリピン、ブラジル、メキシコ、ドイツ、スイス

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。